

ポイント  
**1**

積極的な移民の受け入れによる

## 人口の増加



国内消費や投資の活性化

- オーストラリアの人口増加率は、米国やインドよりも高くなることが予測されています。
- その背景として、自然増加だけでなく、国外からの移民の流入が大きな増加要因となっています。移民には、オーストラリアにとって重要な産業・経済促進につながる高度人材や税制上のメリットなどを求める富裕層が含まれており、オーストラリアは世界中から魅力ある人材を惹きつけています。

ポイント  
**2**

## 人口増加による 内需の拡大



内需拡大の恩恵

- オーストラリアは資源国のイメージが強いかもしれませんが、実は資源（鉱業）はGDPの14%を占めるに過ぎず、金融・小売・教育などの内需型の第3次産業（サービス業）が約7割を占めています。
- 人口増加を原動力に、国内の旺盛な消費がオーストラリアの経済成長を後押ししています。

ポイント  
**3**

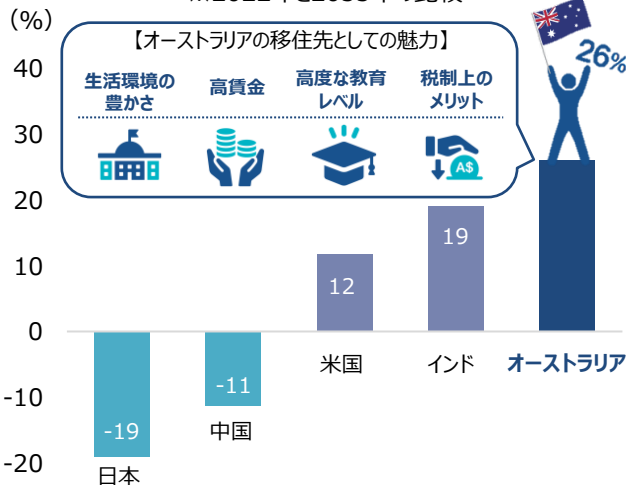
## 長期で安定した 経済成長を実現



- オーストラリアは、他の先進国と比較しても長期にわたり着実に経済成長を続けています。
- 高い成長率の要因には、シドニーやメルボルンなどオーストラリアの都市部でのサービス業を中心とした堅調な内需に加え、地理的にアジア経済の成長の恩恵を受けやすいことが挙げられます。

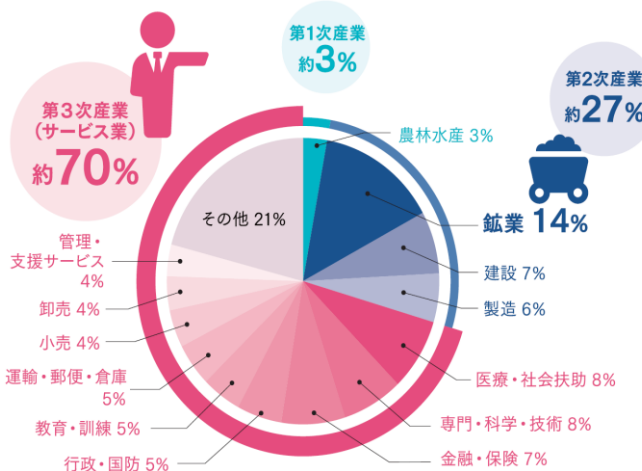
### 主要国の予想人口増減率の比較

※2022年と2055年の比較



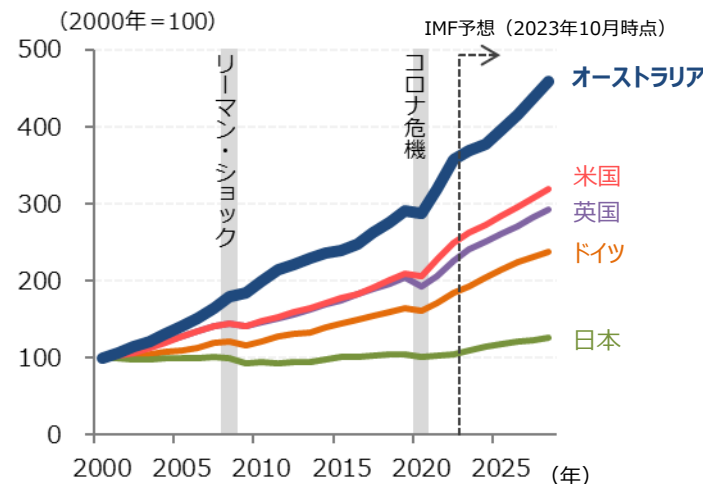
(出所) 国際連合 (予測値含む)、2022年7月時点

### オーストラリアのGDPの産業別構成比



(出所) 豪州政府統計局、2022年度 (2022年7月～2023年6月) (2023年12月公表値) ※四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

### 主要国の名目GDP推移の比較



(出所) IMF (期間) 2000年～2028年 ※2023年以降はIMF予測値 (2023年10月公表値)

● 当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社 (以下「当社」) が作成した資料です。● 当資料は、当社が各種データに基づいて作成したのですが、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。● 当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。● この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。● 当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。● フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社 (金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第417号) はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。



FRANKLIN  
TEMPLETON